

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年12月7日

【四半期会計期間】 第36期第1四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

【会社名】 株式会社テー・オー・ダブリュー

【英訳名】 TOW CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長兼最高執行責任者(COO)  
江草康二

【本店の所在の場所】 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 神谷町セントラルプレイス

【電話番号】 03(5777)1888

【事務連絡者氏名】 常務取締役兼執行役員管理本部長 木村 元

【最寄りの連絡場所】 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 神谷町セントラルプレイス

【電話番号】 03(5777)1888

【事務連絡者氏名】 常務取締役兼執行役員管理本部長 木村 元

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社は、当社の第1本部の特定のチームにおいて原価計上及び売上計上に関し、不適切な会計処理が行われていたことが判明したことを受けて、取締役社長を委員長とする社内調査委員会を設置し、不適切な会計処理の内容把握、原因及び動機の解明、再発防止策の提案等を行うとともに、当社において他に同様の事例がないことを徹底的に調査し、他には問題がないことを確認いたしました。調査にあたっては、弁護士及び公認会計士等の外部専門家から適宜助言を受けるなどし、調査の適法性、適正性等の確保に努めました。

当社取締役会は、平成24年12月7日、社内調査委員会から調査結果の報告を受け、売上高、売上原価の修正等必要と認められる訂正を行うことといたしました。

これらの決算訂正により、当社が平成23年11月14日に提出いたしました第36期第1四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）に係る四半期報告書の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

##### 連結経営指標等

#### 第2 事業の状況

##### 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

##### (1) 業績の状況

##### (2) 財政状態

#### 第4 経理の状況

##### 2 監査証明について

##### 1 四半期連結財務諸表

##### (1) 四半期連結貸借対照表

##### (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

##### 第1 四半期連結累計期間

##### 注記事項

##### (1 株当たり情報)

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_を付して表示しております。

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

(訂正前)

回次	第35期 第1四半期連結 累計期間	第36期 第1四半期連結 累計期間	第35期
会計期間	自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年7月1日 至 平成23年6月30日
売上高 (千円)	2,248,376	2,611,198	10,570,158
経常利益 (千円)	49,227	184,514	377,882
四半期(当期)純利益 (千円)	8,421	109,774	131,232
四半期包括利益又は 包括利益 (千円)	17,412	59,571	230,344
純資産額 (千円)	4,985,674	5,020,418	5,015,671
総資産額 (千円)	7,910,947	8,478,503	7,391,352
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	0.73	9.63	11.47
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	63.0	59.2	67.8

(注) 略

(訂正後)

回次	第35期 第1四半期連結 累計期間	第36期 第1四半期連結 累計期間	第35期
会計期間	自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年7月1日 至 平成23年6月30日
売上高 (千円)	2,248,376	2,615,504	10,538,709
経常利益 (千円)	50,042	183,033	336,864
四半期(当期)純利益 (千円)	4,819	108,896	128,602
四半期包括利益又は 包括利益 (千円)	13,712	58,693	227,714
純資産額 (千円)	4,908,248	4,962,057	4,958,188
総資産額 (千円)	7,845,057	8,477,764	7,392,310
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	0.42	9.55	11.24
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	62.5	58.5	67.1

(注) 略

## 第2 【事業の状況】

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

(訂正前)

(略)

このような事業環境の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は26億11百万円（前年同四半期比16.1%増）、営業利益は1億79百万円（前年同四半期比274.6%増）、経常利益は1億84百万円（前年同四半期比274.8%増）、四半期純利益は1億9百万円（前年同四半期比1203.6%増）となりました。

(訂正後)

(略)

このような事業環境の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は26億15百万円（前年同四半期比16.3%増）、営業利益は1億78百万円（前年同四半期比265.3%増）、経常利益は1億83百万円（前年同四半期比265.8%増）、四半期純利益は1億8百万円（前年同四半期比2159.3%増）となりました。

(2) 財政状態

(訂正前)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億87百万円増加し、84億78百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ11億73百万円増加の70億81百万円となりました。これは主に、未収入金が6億88百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が7億40百万円、現金及び預金が6億78百万円、未成業務支出金が4億59百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ86百万円減少の13億97百万円となりました。

固定資産のうち有形固定資産は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少の90百万円となりました。これは主に、減価償却によるものであります。

無形固定資産は、前連結会計年度末に比べ23百万円減少の57百万円となりました。これは主に、株式会社ペッププランニングとの資本関係を解消したことによる、のれんの減少によるものであります。

投資その他の資産は、前連結会計年度末に比べ57百万円減少の12億49百万円となりました。これは主に、長期繰延税金資産が34百万円増加しましたが、投資有価証券が84百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ11億28百万円増加の31億28百万円となりました。これは主に、買掛金が7億5百万円、その他流動負債が3億88百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ45百万円減少の3億29百万円となりました。これは主に、長期借入金が50百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4百万円増加の50億20百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が50百万円減少しましたが、利益剰余金が54百万円増加したこと等によるものであります。

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億85百万円増加し、84億77百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ11億71百万円増加の70億40百万円となりました。これは主に、未収入金が6億88百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が7億45百万円、現金及び預金が6億78百万円、未成業務支出金が4億52百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ86百万円減少の14億37百万円となりました。

固定資産のうち有形固定資産は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少の90百万円となりました。これは主に、減価償却によるものであります。

無形固定資産は、前連結会計年度末に比べ23百万円減少の57百万円となりました。これは主に、株式会社ペッププランニングとの資本関係を解消したことによる、のれんの減少によるものであります。

投資その他の資産は、前連結会計年度末に比べ56百万円減少の12億89百万円となりました。これは主に、長期繰延税金資産が34百万円増加しましたが、投資有価証券が84百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ11億27百万円増加の31億86百万円となりました。これは主に、買掛金が7億4百万円、その他流動負債が3億88百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ45百万円減少の3億29百万円となりました。これは主に、長期借入金が50百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3百万円増加の49億62百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が50百万円減少しましたが、利益剰余金が53百万円増加したこと等によるものであります。

## 第4 【経理の状況】

### 2. 監査証明について

#### (訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

#### (訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出していますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けておりま  
す。

1 【四半期連結財務諸表】  
(1) 【四半期連結貸借対照表】  
(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,895,474	2,574,022
受取手形及び売掛金	1,225,746	1,966,500
未成業務支出金	198,777	657,816
未収入金	1,248,548	1,799,389
前払費用	36,392	32,989
繰延税金資産	53,154	39,504
その他	10,554	11,030
貸倒引当金	267	-
流動資産合計	5,907,380	7,081,254
固定資産		
有形固定資産	96,607	90,341
無形固定資産	80,454	57,252
投資その他の資産		
投資有価証券	650,643	565,984
保険積立金	296,330	300,160
繰延税金資産	107,733	141,994
敷金及び保証金	241,475	233,105
その他	19,153	8,410
貸倒引当金	8,426	-
投資その他の資産合計	1,306,910	1,249,654
固定資産合計	1,483,972	1,397,249
資産合計	7,391,352	8,478,503
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	758,808	1,464,497
短期借入金	840,000	840,000
1年内返済予定の長期借入金	14,312	-
未払法人税等	71,935	69,908
賞与引当金	17,583	56,929
役員賞与引当金	-	10,833
その他	297,738	686,363
流動負債合計	2,000,378	3,128,531
固定負債		
長期借入金	50,004	-
退職給付引当金	160,411	161,542
役員退職慰労引当金	162,586	165,710
その他	2,300	2,300
固定負債合計	375,302	329,553
負債合計	2,375,681	3,458,084

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	948,994	948,994
資本剰余金	1,027,376	1,027,376
利益剰余金	3,480,497	3,535,342
自己株式	470,235	470,235
株主資本合計	<u>4,986,634</u>	<u>5,041,478</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,491	24,288
土地再評価差額金	46,614	46,614
その他の包括利益累計額合計	27,876	22,326
新株予約権	1,160	1,266
純資産合計	<u>5,015,671</u>	<u>5,020,418</u>
負債純資産合計	<u>7,391,352</u>	<u>8,478,503</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,895,474	2,574,022
受取手形及び売掛金	1,186,059	1,931,335
未成業務支出金	195,295	647,663
未収入金	1,248,548	1,799,389
前払費用	36,392	32,989
繰延税金資産	53,154	39,504
その他	15,226	15,554
貸倒引当金	267	-
流動資産合計	5,868,884	7,040,459
固定資産		
有形固定資産	96,607	90,341
無形固定資産	80,454	57,252
投資その他の資産		
投資有価証券	650,643	565,984
保険積立金	296,330	300,160
繰延税金資産	147,186	182,049
敷金及び保証金	241,475	233,105
その他	19,153	8,410
貸倒引当金	8,426	-
投資その他の資産合計	1,346,363	1,289,710
固定資産合計	1,523,425	1,437,304
資産合計	7,392,310	8,477,764
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	777,559	1,482,429
短期借入金	840,000	840,000
1年内返済予定の長期借入金	14,312	-
未払法人税等	71,935	69,908
賞与引当金	17,583	56,929
役員賞与引当金	-	10,833
その他	337,428	726,053
流動負債合計	2,058,818	3,186,153
固定負債		
長期借入金	50,004	-
退職給付引当金	160,411	161,542
役員退職慰労引当金	162,586	165,710
その他	2,300	2,300
固定負債合計	375,302	329,553
負債合計	2,434,121	3,515,707

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 6月30日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	948,994	948,994
資本剰余金	1,027,376	1,027,376
利益剰余金	<u>3,423,015</u>	<u>3,476,981</u>
自己株式	470,235	470,235
株主資本合計	<u>4,929,151</u>	<u>4,983,117</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,491	24,288
土地再評価差額金	46,614	46,614
その他の包括利益累計額合計	<u>27,876</u>	<u>22,326</u>
新株予約権	1,160	1,266
純資産合計	<u>4,958,188</u>	<u>4,962,057</u>
負債純資産合計	<u>7,392,310</u>	<u>8,477,764</u>

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】  
(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,248,376	1,261,198
売上原価	2,003,990	2,250,171
売上総利益	244,386	361,027
販売費及び一般管理費	196,411	181,329
営業利益	47,975	179,698
営業外収益		
受取利息	15	1
受取配当金	2,801	4,201
有価証券利息	-	877
雑収入	632	1,393
営業外収益合計	3,449	6,473
営業外費用		
支払利息	1,863	1,439
売上債権売却損	73	217
雑損失	260	-
営業外費用合計	2,196	1,657
経常利益	49,227	184,514
特別利益		
関係会社株式売却益	-	17,176
特別利益合計	-	17,176
特別損失		
投資有価証券評価損	10,035	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,233	-
特別損失合計	17,268	-
税金等調整前四半期純利益	31,959	201,691
法人税、住民税及び事業税	3,005	75,504
法人税等調整額	20,433	16,412
法人税等合計	23,438	91,916
少数株主損益調整前四半期純利益	8,520	109,774
少数株主利益	98	-
四半期純利益	8,421	109,774

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,248,376	1,261,504
売上原価	2,003,175	2,255,958
売上総利益	245,200	359,546
販売費及び一般管理費	196,411	181,329
営業利益	48,789	178,217
営業外収益		
受取利息	15	1
受取配当金	2,801	4,201
有価証券利息	-	877
雑収入	632	1,393
営業外収益合計	3,449	6,473
営業外費用		
支払利息	1,863	1,439
売上債権売却損	73	217
雑損失	260	-
営業外費用合計	2,196	1,657
経常利益	50,042	183,033
特別利益		
関係会社株式売却益	-	17,176
特別利益合計	-	17,176
特別損失		
投資有価証券評価損	10,035	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,233	-
特別損失合計	17,268	-
税金等調整前四半期純利益	32,773	200,210
法人税、住民税及び事業税	3,005	75,504
法人税等調整額	24,849	15,809
法人税等合計	27,854	91,313
少数株主損益調整前四半期純利益	4,918	108,896
少数株主利益	98	-
四半期純利益	4,819	108,896

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,520	109,774
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,892	50,202
その他の包括利益合計	8,892	50,202
四半期包括利益	17,412	59,571
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,313	59,571
少数株主に係る四半期包括利益	98	-

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,918	108,896
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,892	50,202
その他の包括利益合計	8,892	50,202
四半期包括利益	13,811	58,693
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,712	58,693
少数株主に係る四半期包括利益	98	-

【注記事項】

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(訂正前)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	0円73銭	9円63銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	8,421	109,774
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	8,421	109,774
普通株式の期中平均株式数(株)	11,510,365	11,397,175

(注)略

(訂正後)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	0円42銭	9円55銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	4,819	108,896
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	4,819	108,896
普通株式の期中平均株式数(株)	11,510,365	11,397,175

(注)略

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年12月7日

株式会社テー・オー・ダブリュー

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 長 田 清 忠 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 湯 浅 信 好 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社テー・オー・ダブリューの平成23年7月1日から平成24年6月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)に係る訂正報告書の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社テー・オー・ダブリュー及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成23年11月14日に四半期レビュー報告書を提出した。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。